

無 聖

第74号

第41回 曹洞宗青年会東北地方集会 宮城大会
「まごころに生きる」



◆「自己を磨き他に尽くさん」	◆傾聴行茶活動報告	11
会長 北村暁秀	◆平成28年度第一回研修会	11
◆第22回チャリティバザー報告	◆平成28年度会員大会報告	12
◆第41回曹洞宗青年会東北地方集会	◆教化活動	13
宮城大会「まごころに生きる」	◆第24期委員会・事務局総括	14
◆東日本大震災七回忌法要	◆サンタピアップみやぎ活動報告	15
◆「熊本・長崎」移動研修旅行報告	◆年次総会・事務局だより	16



会長挨拶

自己を磨き 他に尽くさん

第24期会長 法山寺 副住職
北村 暁秀

まず始めに、昨年十一月仙台サンプラザでの宮城大会には県内の御寺院様、御寺族様、檀信徒の皆様の深い御理解と多大なる御法愛御協力を賜りましたこと衷心より感謝御礼申し上げます。それから五ヶ月早いもので「自己を磨き他に尽くさん」を掲げて活動して参りました宮曹第二十四期も、その任期を終えようとしております。宮城大会を含めた平成二十八年度後半を振り返って参ります。

○平和祈念の鐘

終戦七十一年の夏、県内御寺院様のご協力の下八月十五日の正午に戦争の惨禍を忘れず平和を祈り不戦を誓うべく鐘打黙祷を昨年に続き実施。

○カンボジア教育支援チャリティバザー

九月六日、登米市蔵ジウムを会場に第二十二回チャリティバザーを開催。地元十四教区様の多大なるご協力のもとにおよそ百二十万円の売上げとなりました。南三陸町からの避難者が多くお住まいの地域であり、そのまま住居を構えられた方も多い地域。従来のカンボジア教育支援に加え熊本地震支援募金も行いましたが、ご来場の皆さまが快く趣旨に賛同頂けたことを大変ありがたく感じました。

○宮古市台風被害支援活動

九月十六日、台風十号で甚大な被害を受けた岩手県宮古市新里地区での災害支援活動。会員十五名で岩手曹青会の皆さまと活動を共にさせて頂きました。泥を被った家屋からの家財道具などを搬出する作業の中で、お住まいだった方の生活に思いを馳せつつ、水で何倍にも重くなった畳の運び出しには、東日本大震災時の記憶が甦りました。僅か一日の些細な活動しか叶いませんでしたが、一日も早い復興と被災された方の安らかな生活を祈りながら帰路に着きました。

○第一回研修会数佛会酬らし

九月二十八日、前年度に続き大本山總持寺元維那前川睦生後堂老師に数佛声明のご指導を賜りました。宮城大会震災七回忌当日に行う実際の所作進退とあつて、本番に向けて積極的に質問が出されるなど、いつもにも益して参加者の真剣さがひしひしと伝わる緊張感に包まれた実りある研修会となりました。

○宮城大会「まごころに生きる」

十一月九日、およそ二年の準備を重ねて臨んだ宮城大会。会場の仙台サンプラザには宗侶も含めて東北中から二千二百名が一同に会し心を一つに修行させて頂きました。

た。第一部数佛法要による震災七回忌では大本山總持寺江川辰三親王に導師をお勤め賜り、これまでご指導頂いた前川老師が主讀をお勤めになり、その前川老師監修による特別差定によって数佛に供養が営まれました。第二部は復興への祈願行持として和太鼓奏団「鼓司」の皆様により今回のために特別に準備頂いた力強い演奏が披露され、その迫力と奏者の熱い思いが会場全体を包み込み、復興への思いを新たにしたのであります。第三部は南こうせつ氏による追悼と復興の二つの祈りを込めたコンサート。その歌声に会場の誰もが魅了され、一曲一曲に自らを重ねて知らずこの六年間の歩みを回顧しながら聴き入りました。最後には大会テーマでもある「まごころに生きる」を涙ながらに大合唱してその幕を閉じました。運営側も参加者も誰しもにとつてまごころに生きる機縁となる大会ではなかったかと自負するところであります。

○年次総会

十二月十九日、秋保水戸屋を会場に第二十五期の会長以下三役が承認されました。現副会長のお一人である耕徳寺住職長谷川俊昭師が会長に選出され、五十年を迎える来期に向けての抱負を述べて新たな宮曹青船出の日となりました。

○第二十四期移動研修会

平成二十九年一月二十三日～二十五日、熊本市大慈寺様のお見舞と視察及び拝登調経。地震被害後搭袈裟での拝登は宮曹青が始めてであるとの堂頭老師のお言葉に、改めて被害の甚大さやご苦労が偲ばれ参加者一同懺悔の情を抱かずにはおられませんでした。長崎では皓台寺様を拝登し原爆資料館を視察、平和公園にて供養の読経を手向けさせて頂きました。

○会員大会

二月六日、正会員と特別会員の相互理解と親睦を深めるべく開催。ボーリングや懇親会に加えて、カンボジア留学生サカル・モロコット氏による講演会を併催してカンボジアの教育問題やサンタピアアップの活動について共に学ぶ機会を設けました。葬儀等でお世話になっている会社の方々なども多く、交流を深め共通の目的や問題意識を持つことで、お互いのより円滑な関係性構築の一助にも繋がるものとなりました。

○傾聴行茶活動「佛一息」

二月十六日、これまで継続してお邪魔している石巻市内役場前仮設及び大森仮設にて実施。公営住宅へ移るな

ど復興が進む反面、残された入居者の中には寂しさを口にされる方もありました。元入居者の方も駆けつけて懐かしい話に花が咲く場面もあり、和やかさの中にも寂しさも募って涙を浮かべる方の姿もあり、些細ではありますが行茶活動を細くとも永く続けていきたいと強く感じた活動となりました。

○サンタピアアップみやぎボランティア会

「アンコールワットへの道 ブース出展パネル展示」七月十六日～九月十九日の二ヶ月間多賀城市東北歴史博物館を会場に、活動紹介ブースを出展し来場者への広報活動を実施。期間中特別に頂いた三度の講話時にも大勢のご来場を頂き活動を広く知って頂くまたとない機会となりました。

「カンボジアフェア」十二月五日～七日、泉セルバにてパネル展示や活動紹介ブースを出展。こちらにもたくさんのご来場を賜りました。

「書き損じハガキリサイクルキャンペーン」二月二十日～二十一日、東北福祉大学の学生さん方にも参加させて頂きこの一年でお寄せ頂いた書き損じハガキの集計を実施。昨年度には及ばないものの一万枚を超えました。サンタピアアップでは年間を通じて各種企業や団体、学校などへの出前講座を請け賜っておりまして是非お気軽にお声掛け下さい。

結びに、今期は教化委員会を特設するなどして、すべての活動が「教化」を内部テーマとする宮城大会へ結びつき、かつ会員其々の寺院にフィードバックしてもらえようという内容とすべく役員一同心掛けて参りました。そしてどうにかその方針を遂げさせて頂くことが出来たのではないかと安堵しております。「他に尽くす中で共に磨かれていく自己」を会員一人一人が感得できたのではないかと存じます。しかしながらそれは、偏に青年会活動に多くの信頼と深いご理解を賜っている先輩の方々様方や御寺族様方のお蔭様であります。その寛容なるご支持無くしては到底成し得ないものばかりでした。誠に感謝の念に堪えません。宮曹青は第二十五期へと受け継がれますが、どうか県内御寺院様御寺族様にはこれまで同様変わらぬ御法愛と御指導を賜りますようお願い申し上げます。

合掌

今回で二十二回目の開催となったカンボジア教育支援チャリティバザーを、会場教区として快くお引き受け頂きました第十四教区のご寺院様はじめ、青年会様、寺族会様、協力団体様のご理解とご協力のもと無事開催することができました。十四教区の皆様には半年以上も前より準備を進めて頂き、会場の選定や広報活動など多大なるご尽力を頂きました。当日は多数の方に来場頂き商品を完売できましたことは、ご協力頂きました皆様のおかげと深く感謝申し上げます次第です。

当日売場以外では、地元登米社会福祉協議会様によるアイスコーヒー販売のブースを開いて頂き、売り上げを全額ご寄付頂きました。他にも養育支援が必要な子供たちの援助を行っている「NPO法人みやぎ子ども養育支援の会」(代表木村孝禅師)、震災孤児支援活動を行っている「JETOみやぎ」のブースも開いて頂きました。



また今回は売場内で熊本地震への募金をお願いし多くの来場者よりご協力頂きました。登米市には東日本大震災の沿岸部で被災された方が住む仮設住宅や復興公営住宅があり、まだまだ復興道半ばということを感じている地域であると思います。そのような中で今回来場者の皆様にはカンボジアへの教育支援、そして熊本への支援にご理解頂き、商品の購入、募金等頂けたこと大変ありがたく感じております。

今期の宮曹青のスローガン「自己を磨き、他に尽くさん」という思いのもと、バザーに向けて皆で準備に準備を重ねてまいりました。私たちのこの活動は間違いないカンボジアの子供たちの笑顔に繋がっていると確信しております。この思い、また二年間で得た経験を来年以降へ繋げていくとともに、カンボジアのさらなる発展、東北の早期復興を願い、総括いたします。

(ボランティア委員長 千田祥幹)

開催日時	平成28年9月6日(火) 午後10時00分整理券配布 午後12時30分開場 午後1時00分(販売開始)～ 午後2時30分(販売終了)
開催会場	「登米総合体育館とよま蔵ジウム」(会場教区:第14教区)
参加者	163名(前日準備含む延べ人数) ・9月5日(準備会)合計 88名 ○内訳:宮曹青会員69名、会場・第14教区(寺族会)8名・協力企業11名 ・9月6日(当日)合計 75名 ○内訳:宮曹青会員59名、会場・第14教区(寺族会)5名・協力企業11名
来場者総数	243名
販売商品数	4,573点
総売り上げ	¥1,194,300円 ※売上金は、全額サントピアアップみやぎボランティア会へ寄付
商品売り上げ	¥1,182,700円
エコバック売上	¥11,600円
会場募金	¥36,546円(登米社会福祉協議会様寄付金含む) ※半額ずつサントピアアップみやぎボランティア会と熊本地震の支援として熊本県曹洞宗青年会様へ寄付
サントピア会場募金	¥5,514円

「まごころに生きる」

期日 平成二十八年十一月九日(水)

会場 仙台サンプラザ



会場風景



会場風景

まず、「第四十一回曹洞宗青年会東北地方集会 宮城大会」に参加させていただき、大変貴重な経験ができたことに感謝いたします。

企画・計画の段階から研修委員として携わることができ、会場の準備やセッティングなど会員が一体となり成し遂げられたものと思います。

第一部の「東日本大震災七回忌法要」では、大本山総持寺貫主 江川辰三大禅師猊下御親修のもと、「歎佛会」を厳かな雰囲気の中、無事に終えることができました。

まだまだあの日に取り残されている方々も多くおられます。

来場者の方々、それぞれの思いが溢れ、涙を流しておられ「心」の復興には時間がほしいのだと痛感いたしました。

しかしながら、当寺院のお檀家さんで娘さんを亡くされた遺族の方は「法要で供養していただきありがとうございます」「話したことです辛さや苦しみを吐き出す場も必要だと感じました。

これからも様々な形で復興支援に携わっていききたいと思います。

研修副委員長 長尾 靖樹



東北地区曹洞宗青年会
第41回東北地方集会
「宮城大会」記念式典



1. 遺族代表の言葉
石巻市 本田律子さん
2. 独詠 佐藤正明老師

第一部

大本山總持寺貫首 江川辰三 大禪師 猊下 御親修
東日本大震災七回忌法要 《歎佛会》



講本を監修していただきました前川老師



第二部

復興祈念行持
和太鼓集団「鼓司」



第二部

追悼復興
コンサート



シンガーソングライター
南こうせつ氏



平成二十八年十一月九日仙台市宮城野区仙台サンプラザに於いて東北地区曹洞宗青年会第四十一回東北地方集会を、大会テーマ「まごころに生きる」と題し開催しました。

第一部東日本大震災七回忌法要は、東北管区様主催のもと大本山總持寺江川辰三大禅師猊下御親修にて宗門の古式に則った歎佛会法要を厳修、参列された方々が一心にお手を合わせるお姿と、我々宗侶が一心にお唱えをする姿が一つとなり、震災でお亡くなりになられた方々の御供養を勤めさせて頂きました。

第二部復興祈念行持、三重県青年宗侶和太鼓集団「鼓司」様による和太鼓のご公演は、復興祈念に相応しい、「鼓司」の方々の復興への篤い願いが伝わり、来場された方々の心を揺さぶるものでありました。

第三部追悼復興コンサートは、詠讃歌「まごころに生きる」を作詞作曲された南こうせつ氏の歌声と語りに皆様が感極まり涙を流しながら耳を傾けてお出でしました。

今大会開催に際しまして、ご支援ご協力を頂きました東北管区様、東北管区教化センター様、宮城県宗務所様、関係団体様はじめ県内御寺院様、特別会員、各県曹青会様等々多くの方々的心より感謝を申し上げます。

大会総務 長谷川俊昭

東日本大震災七回忌 慰霊復興祈願のつどい

平成二十九年三月十日福島県福島市にあります福島ルンビニー幼稚園と圓通寺様を会場に全国曹洞宗青年会主催「東日本大震災七回忌 慰霊復興祈願のつどい」が開催され、宮曹青から出向として五名、また東北地区曹洞宗青年会連絡協議会より宮城から六名の出向をいたしました。当日は風が強く雪もちらつく寒い日ではございましたが、たくさんの方のお参りを頂戴いたしました。



お焚き上げ供養



萬灯供養



笹かまぼこ(女川の高政様からご提供いただきました。)を炙ってお渡しするブースを設置しました。数にして600個ほど用意しましたが、たくさんの方にご来場いただきましたおかげで瞬く間になくなりました。

東日本大震災復興祈願イベント

去る平成二十九年三月十五日曹洞宗福島県青年会主催「東日本大震災復興祈願イベント」が福島県郡山市の郡山市民文化センター中ホールにて開催され、宮曹青から十二名、東北地区曹洞宗青年会連絡協議会から八名宮城から参加いたしました。当日は雪が降る中、僧侶百四十七名、一般来場者約七百五十名の参加がございました。



三遊亭 円楽師匠



漫才芸人「母心」



復興祈願法要

東日本大震災「追悼慰霊供養」

東日本大震災から丸六年の月日が経ちました。
様々な場所にて亡くなられました方々に対し追悼慰霊供養が行
われました。

宮曹青からも県内六カ所の慰霊法要へ出向させていただきまし
た。

そのほか各教区ごとであったり各ご寺院様、たくさんの方に
於いて県内外から来られた方々が思い思いにそれぞれご供養をさ
れておりました。

場所の違いは一つ。

犠牲となられた方々の御冥福を心からお祈り申し上げますと同時
に、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

大川小学校
慰霊祭
【石巻市】



全日仏青主催
七回忌法要
【仙台市・孝勝寺】



宮殿寺
七回忌法要
【石巻市】



法山寺
七回忌法要
【石巻市】



法山寺様で宮城大会での七回忌法要の
読込帳を復興祈念の経木塔婆と一緒に
お焚き上げいたしました。灰は太平洋
にお流しました。

長音寺
七回忌法要
【東松島市】



「熊本・長崎」移動研修旅行報告

先般、実施されました移動研修会は、二十二名の参加の下熊本・長崎両県を視察し研修してまいりました。

初めに向かった熊本では移動の車窓から雨漏り対策のブルーシートが屋根に掛けられた家々を数多く目にし、東日本大震災後の宮城県も同様の光景があったな

と思ひ出し、風化されつつある記憶を改めて思い出しましたし、当県の復興もまだま

だまだの所も数多くありますので、今後も益々復興に尽力していかなければという思いを持ちました。また、まだ何かと大変な中我々を快く迎え入れて下さいま

した「大慈寺」さまにおかれましては、法堂での拝登諷経の後、被害を受けた伽藍や、仏像を方丈さま自らご説明くださ

り、資金面など今後抱える悩み等をお話頂きました。

続く長崎県に於いては原爆資料館や原爆を投下された爆心地、平和祈念公園を訪れ、原爆の恐ろしさや脅威を改めて痛感し、やはり不戦の誓いを我々僧侶も訴えていかなければならないのではないかと思います。その後修行道場である「皓台寺」さまを拝登する

事もできました。

今回の研修では、ともしれば忘れかけてしまふような様々なる事を改めて思い出し、誓いを新たにす貴重なる時間を過ごせたのではないかと思います。

最後になりますが、事故なく無事終わられました事にご参加頂いた皆様、ご協力頂いた全ての皆様に感謝と御礼を申し上げて報告とさせていただきます。

(研修委員長 高橋信弘)



▶熊本県大慈寺様。地震による被害を受け修復作業中。



▶修復作業が進む熊本城



▶長崎県平和公園にて



▶熊本県大慈寺様にて



▶長崎県皓台寺様にて



傾聴行茶活動 仏一息 活動報告

ほつとひといき

去る二月十六日、今年度第二回目の傾聴行茶活動「仏一息」を石巻大森仮設、役場前仮設の二か所の仮設集会所にて行いました。

これまで何度も継続してお伺いしている仮設住宅で、昨年十一月以来の訪問となりました。復興住宅等へ移られる方が増え、今回何名参加して頂けるか不安なところがありました。但し、すでに引越された方にも来ていただき、両仮設とも依然と変わらぬ和やかな雰囲気の中、活動させていただきました。

今回も前回の石巻の活動に続きアメリカンフラワーの作成を講師先生指導のもと住人の方に行って頂きました。前回の作成過程での反省点等を今回は考慮し比較的スムーズに行うことが出来ました。作品が完成した時には皆さん笑顔で喜んで頂き、早速胸に当てられたり、髪飾りのように付けていらっしゃいました。

また今回も長尾靖樹師中、心に炊き出しを行いました。活動場所が二か所ということで配膳も難しい面がありましたが、こちらも皆さんに美味しいと喜んで頂きました。

来ていただいたある雄勝出身の男性はお孫さんが震災発生数日後に生まれ、今春小学校入学を迎えるそうです。ランドセルを買ってあげたことをうれしそうに話してくださいました。この六年間お孫さんの成長が何よりの希望となっていたようです。お話を伺って少し心が和むとともに、その男性の方の顔

に浮かぶ六年という歳月の重みを実感したエピソードでした。

今期の活動は区切りを迎えますが、今回訪れた仮設住宅は来年秋まで存続することですので、今期頂いた住人の方とのご縁をまた来期へと紡いでいきたいと思っています。二年間仏一息に携わっていただいた皆様ありがとうございました。

日時・活動場所

●平成二十九年 二月十六日(木) 十時より

●活動場所

・仮設役場前団地
・仮設大森団地(第三団地集会所)

●活動内容

アメリカンフラワーの作成、長尾研修副委員長中心に炊き出し(献立:鴨南蛮そば)

●参加者

正会員十四名、濱田講師先生、洞雲寺寺族、宗恵寺寺族。

●来場者

大森十二名、役場前十六名



平成28年度 第一回研修会

平成二十八年度第一回研修会として、昨年九月二十八日に仙台「林香院」様を会場に実施致しましたところ、正会員・賛助会員合わせ五十六名の方々にご参加いただきました。

講師には、前年より引き続き愛知県東泉寺住職で大本山總持寺後堂をお勤めの前川睦生老師をお招きし、歎佛会の馴染みを行いました。

冒頭に東日本大震災で犠牲になられた方々の七回忌法要の為に作成された特別な差定や回向について説明していただいた後、各配役にて法要中の動きや、鳴らし物のタイミングなど細かく確認いたしました。

今期のテーマでもあります「自己を磨き 他に尽くさん」に沿った研修内容になったと思いますし、その集大成として、東北地協宮城大会の法要へ繋がっていったのではないかと感じております。

最後になりましたが、今研修会にご参加いただいた皆様、ご協力くださいました全ての皆様に、感謝と御礼を申し上げます。

研修委員長 高橋 信弘



平成二十八年年度 会員大会

第一部

『サントピアアップ講演会』報告

去る平成二十九年二月六日(月)にホテルグランテラス

仙台を会場にサントピアアップみやぎボランティア会講演会を行いました。

正会員、特別会員合わせて七十一名参加のもと、講師としてカンボジア人留学生 サカル・モロコットさん(東北大学三年生)をお迎えし『カンボジア王国 過去・現在・未来』と題し講演を行いました。

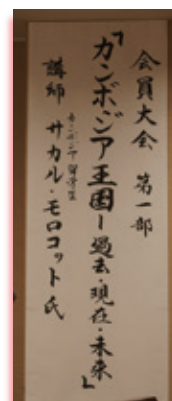
カンボジアの歴史、教育問題、生活情報など大変貴重な話を聞ける機会となりました。

また講演終了後にはサントピアアップみやぎボランティア会 坂本総務より新しく入会した正会員、特別会員の方々に対し当会の活動内容などをより知って頂くためにお話頂き、当会の活動について理解を深める大変貴重な場となりました。(参加者七十一名)

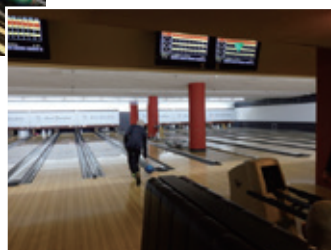
サントピアアップ事務局長 三輪宗俊



講師のサカル・モロコットさん



ボーリング大会



乾杯の挨拶

第二部 第三部

ボーリング大会及び懇親会

第二部ボーリング大会(八十八名参加)、第三部の懇親会(九十六名参加)では前年同様多数の会員様の参加がありました。新規会員になられた方も参加していただき会員相互の親睦を深め盛会裏に終えることができました。

交流事業委員長 根本秀逸

教化活動



第十六教区 気仙沼市

松岩寺 副住職

小黒澤 和常

現場の僧侶の立場からお葬式・ご供養の大切さを伝えたい——執筆にかけた思い——

著書「最高のお葬式・最高のご供養（KKベストブックス）」を出版出来た事をこの場をかりて報告させていただきま

す。私がこの本にかけた思いは一つです。現場の僧侶の立場から、お檀家さんをはじめ一般の方々が、大切な故人様のご供養のため、ご自身が出来る最高のお葬式・最高のご供養をしていただきたいという願いからです。

現在のお葬式や供養のあり方を考えると、特にここ数年で大きな変化を迎えているように感じます。家族葬や直葬、インターネットを窓口にご法事を申し込むサービスが始まり、世の中には僧侶派遣を行う会社まで登場するようになりました。お墓のあり方もこれまでのような家族単位のものから、永代供養塔のような集合墓、樹木葬など様々な選択肢が出てきました。著書ではこうした世の中の動

きについても、私なりに意見や感じた事を書かせて頂きました。

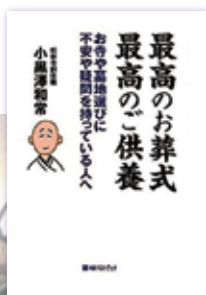
僧侶として何が出来るのか？

変わゆく世の中で、私が僧侶として何が出来るか考え行ったのが執筆でした。洞源院小野崎秀通老師の震災を乗り越えた保育園の開園、普門寺高橋悦堂師の臨床宗教師の取り組みなど、県内のご寺院様の活動も取材し、本の中で紹介させて頂いたことが出来ました。

我々僧侶はお釈迦様、道元禅師様、瑩山禅師様はじめ多くの歴代の祖師様より法を継ぎ、地域に根ざし布教を行い、一仏両祖様のお導きのもと大切な故人様のお葬式・ご供養を数百年にわたり行っていました。お檀家さんをはじめ多くの皆様のご供養を行う現場の僧侶の立場から、あらためて一般の方にお葬式・供養の大切さを知ってもらいたい。このよう

な思いから本を書かせて頂きました。まだまだ若輩の身ではありますが、諸先輩方のお力を借り何とか一冊の本にまとめる事が出来ました。皆様ご指導・ご教示のほどよろしくお願い申し上げます。

合掌



委員会総括 ～第24期を振り返って～

研修委員会

委員長 高橋信弘

今年度研修委員会では、昨年より引続き軟佛会を研修してまいりました。二十七年年度の第回「供養について」の研修から始まり、供養ということとを改めて深く学び、その実践編として二十八年度へと繋げて参りました。そして、今期の宮曹青のスローガンでもあった「自己を磨き 他に尽くさん」の通り、供養する御霊やそのご遺族を思い、それぞれが研鑽を積んだ結果、東北地協宮城大会での東日本大震災七回忌法要の圓成にも繋げることができたのではないかと思います。

また、先般実施されました移動研修において、地震により甚大な被害を受けた熊本を視察することにより、私達にも残る東日本大震災の記憶を風化させてはいけないと強く感じた他、続く長崎では原爆の脅威を学び、参加者一同恒久の平和への思いを改めて心に誓うことができたのではないかと思います。

二十四期は終わりますが、我々青年僧侶にとりまして今期のスローガンは常に念頭に置かなければならないことと考え、その思いは今後も継続していききたいと思っています。

最後になりましたが、執行部はじめ常にご協力いただきました委員の皆様、委員会運営にあたりご協力頂きました関係する全ての方々に感謝と御礼を申し上げます。

ボランティア委員会

委員長 千田祥幹

この二年間、東日本大震災の被災地はもとより、関東東北豪雨災害、台風十号による災害、熊本地震の被災地に思いを寄せ、今期のスローガ

ン「自己を磨き、他に尽くさん」の精神で委員一同活動して参りました。それぞれの被災地は復興道半ばです。これからも宗侶として今何ができるのか、それぞれの胸に問いかけながら被災者の方々の心に寄り添っていきたいと思います。被災地の早期復興を心より祈念し、活動に携わっていただいた全ての方に感謝申し上げます。二年間の総括といたします。

広報編集委員会

委員長 伊達吉信

会報誌「無聖」の発行、ホームページを通じて会員のみならず一般の方にも広く我々の活動を知ってもらえるよう広報活動を行ってまいりました。

今期発行した無聖の独自企画として会員さんの「教化活動」を取り上げ、四人の会員さんに取材させていただき、皆様それぞれの他の方面でご活躍されている姿を紹介でき大変良い特集記事になりました。今期二十四期は宮城大会の大きなイベントがございまして広報編集委員会としても会員のみなならず一般の方にも幅広く広報するために、大会用フェイスブックを開設いたしました。大会後もフェイスブックは宮曹青のフェイスブックに移行していきます。

ホームページ運営では各事業の案内、報告を迅速に更新アップに心掛け活動してまいりました。前期天野会長からも「ホームページは会の顔です」とご教授頂き、委員会として「宮曹青の顔」に恥じないように運営してきた所存です。最後になりますが二年間広報編集委員長として支えて下さいました委員会の皆様、ご協力いただきました会員の皆様に御礼を申し上げます。

交流事業委員会

委員長 根本秀造

ソフトボール大会、会員大会を開催いたしました。多数のご参加を頂き、正会員・特別会員の枠を超えた交流を図ることが出来ました。ソフトボール大会においては天候に悩まされ屋外での開催の難しさを実感いたしました。また、宮城大会のある期でも有り色々な経験をさせて頂きながら多くの事を学ばせて頂きました。このご縁を頂けた事に心より感謝申し上げます。

最後にこの二年間、会長、役員、大会を開催するにあたってご協力頂いた関係各位、委員の皆様へ感謝を申し上げます。

特設教化委員会

委員長 神作紀道

第二十四期特設教化委員会は、今期のスローガン「自己を磨き、他に尽くさん」の下に二年間を通して、まさしく「教化」をテーマとして研鑽を重ね、東北地方集会「宮城大会」に臨むことを目的として設置された。その為に今期特設教化委員会は計二回の研修を開催した。

第一回研修会を「生老病死苦を分かち合える聖域」寺院を守り抜く」として講師に行政書士・FPである勝 圭子先生を招いて今後の寺院のあり方を探り、第二回研修会として「僧侶として生死に向き合う」臨床宗教師の現場から」として講師に宮城県普門寺副住職 高橋悦望老師を招き、実践の教化を学んだ。また、第三回として教化の基礎であり、要である「布教」について「布教教化の心構え」今私達にもとめられているもの」と題し、講師に宮城県廣淵寺住職・曹洞宗特派布教師である奥野昭典

老師よりご講義いただいた。

三回の研修を通し、僧侶として布教教化の大切さ、大変さを改めて感じながら、東北地方集会「宮城大会」に向かって僧侶として何ができるか、どのような教化ができるのかを考えた二年間であった。特設の委員会として研修会や委員会運営等、内容を模索しながら進んだ二年間となり苦慮したが、東北大会の無事円成を受け安堵している。

事務局

事務局長 吉田義弘

今回、事務局長の任を拝命してからは、あっという間に過ぎ去った二年間で、北村会長はじめ役員皆様のご助言、ご協力のもと無事円滑に務めさせていただく事が出来ました。

今期は「自己を磨き、他に尽くさん」のテーマのもと各委員会との連携を大切に、スムーズな企画運営が出来るように心掛けて行っていました。

また、今期の集大成である東北地方集会「宮城大会」が大円成出来ましたのも、執行部の皆様、理事の皆様、会員諸師の皆様のご多大なるご協力の賜物と存じ上げます。

今年で震災から七回忌を迎えましたが、まだまだ震災の傷跡は残っております。心の復興・支援活動など継続しなければならぬことが多々ある事と思いますが、青年会一丸となつて力になれるよう務めていければと思っております。

最後になりますが、一年間支えて下さいました執行部の皆様方、ご協力頂きました会員の皆様には心より感謝申し上げます。有難うございました。

宮曹青主管 カンボジア教育支援活動

サントピアアップみやぎ ボランティア会

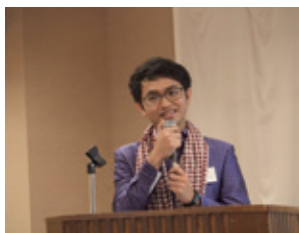
会員大会第一部『サントピアアップ講演会』

【日時】平成二十九年二月六日

【会場】ホテルグランテラス仙台国分町

【参加者】七十一名

講師としてカンボジア人留学生サカル・モロコットさん（東北
大三年生）を お招きしカンボジアの現状、並びに教育について
お話頂きました。また、講演後には当会坂本総務よりサントピアッ
プの活動についてお話頂きました。



「カンボジアフェア in SELVA」開催報告

【日時】平成二十八年十一月五日～七日

【会場】仙台市泉区中央「SELVA」二階

【来場者】約二〇〇名（三日間延べ）

【スタッフ】四十七名（三日間延べ）

「来場の方には、ホシヤマ珈琲店様提供の美味しい珈琲を飲みな
がら、小学校贈呈式の様子などの映像もご覧いただきました。

○クラフト販売 売上合計 八一、五一七円

○募 金 募金合計 二八、六九八円

○古本・CDなど 沢山

東北歴史博物館アンコールワットへの道 （サントピアアップブース設置）

【日時】平成二十八年七月十六～九月一九日

【会場】東北歴史博物館（多賀城市）

東北歴史博物館におきましてアンコールワットへの道が開催
されサントピアアップもブースを設置させて頂きました。

ブースでは贈呈式の映像、並びにパネル展示を致しました。

また期間中、三日間「一日二回 計六回」研修室をお借りし
て『サントピアアップみやぎボランティア会の活動とカンボジア
の人々』と題して講演し計二六名の方に当会の活動について
お話をお聞き頂きました。



「もったいない」そのころが、子供たちの明るい未来につながる 「ハガキリサイクルキャンペーン」中間報告

この一年間で皆様に収集頂いた書き損じハガキと切手の集計作業
を行いました。全国の御支援者様より沢山のご提供を頂き誠に有難
うございます。

【日時】平成二十九年二月二十一～二十一日

【会場】サントピアアップ事務局

【集計作業】参加三十名（二日間延べ）

【集計結果】
○書き損じはがき／合計一〇、九五四枚
○切手／合計三、七四三枚（額面換算計一七三、五七九円）

皆様からお寄せ頂いた書き損じハガキや切手は、新しいハガキ
や切手に変えて県内御寺院様や団体企業様にご購入頂き、その売
り上げをカンボジア教育支援費として活用させて頂いております。

オリジナル卓上カレンダー2017「完売」

今年度も三、〇〇〇部を目標に作成致しました。

カレンダーですが、お陰様で無事完売となりました。
こちらの収益も教育支援費として大切に活用させて頂きます。

【制作販売数】

○三、〇八五部（一部 三〇〇部）

○売上合計 九二五、五〇〇円

『古本・CDリサイクル』による支援

皆様のご家庭に、不要になった漫画や文庫本・CD・DVD・ゲー
ムソフト等はありませんか？

あの頃、大切にしていたこの本をもう一度役立たせたい…是非とも
私たちにお譲り下さい！

詳細はホームページ、又は事務局までご連絡下さい。

書き損じハガキ・切手の送り先

〒九八六-二九九

石巻市渡波町一八八

渡波郵便局留「サントピアアップ」宛

支援金の送り先

郵便振替口座

名義 サントピアアップみやぎボランティア会

口座番号 02290-6-48744

サントピアアップ事務局

〒九八六-〇〇一五 石巻市吉野町一・四・九 多福院内

TEL/FAX 〇二五（九八）四四八（専用）

E-mail info@santopia.com

平和祈念の鐘

平成二十八年八月十五日（月）正午より宮城県曹洞宗各寺にて終戦行持「平和祈念の鐘」が一分間鳴らされました。昨年に引き続き、戦争の惨禍を忘れず犠牲になられた方々への慰霊と恒久平和を祈り不戦を誓うべく、鐘の音が鳴り響いていました。



事務局だより

平成二十八年年度 年次総会

平成二十八年十二月十九日（月）秋保温泉ホテルニュー水戸屋を会場に「平成二十八年年度 年次総会」が開催されました。（出席者六十六名）
議長に第三教区化度寺 根来興宣師が選任され審議事項として先般の理事会にて承認された「第二十五期三役人事案」について、第二十五期会長として第十一教区耕徳寺 長谷川俊昭師を北村会長より上程、審議の結果、満場一致にて長谷川師が選任され

ました。
その後、長谷川師が副会長三名・監事三名の人事案を読み上げ、上程審議の結果満場一致にて承認されました。



◀宮城県曹洞宗青年会三役の皆さん



▶宮城県曹洞宗青年会年次総会の様子

会 長	
・ 第十一教区	耕徳寺 長谷川俊昭
副会長	
・ 第一教区	清涼寺 神作 紹道
・ 第四教区	慶雲院 清水 大伸
・ 第十四教区	大慈寺 高橋 信弘
監 事	
・ 第十一教区	潤洞院 二階堂法淳
・ 第十三教区	多福院 三輪 宗俊
・ 第二十一教区	東泉寺 眞山 隆宏

今後の予定

- ◎四月十八日（火）／平成二十九年定例総会合同委員会
於 ホテルニュー水戸屋
- ◎四月二十六日（水）／全日仏青
於 弘法興隆花まつり千僧法要
於 奈良 東大寺
- ◎五月十七日（水）／全曹青中央研修会
- ◎五月十八日（木）／全曹青定期総会
於 曹洞宗檀信徒会館

編集後記

この二年間広報編集副委員長として主にホームページ運営に携わりました。
慣れない分野ではございましたが、たくさんの方を勉強させていただきました。
また無聖に関しましては委員長の伊達吉信師に頼り切ってしまうご負担をおかけして申し訳なく思っております。
今期も様々な活動をこのように記録として残すことができ、次期へバトンを渡せることにとても嬉しく感じています。
今後ますます活動がより良いものになるよう期待を込めまして、編集後記とさせていただきます。
（広報編集副委員長 時泰広）

表紙写真



無 聖 第74号（平成29年4月1日発行）

表紙題字 宗務所長 小野崎秀通 老師
編 集 宮城県曹洞宗青年会
発 行 人 北村暁秀
事 務 局 宮城県利府町菅谷字
南熊ノ前41 道安寺内
TEL・FAX 022-356-2654（専用）
U R L <http://miya-sousei.com>
E-mail info@miya-sousei.com